



公益社団法人 日本建築家協会《JIA》 関東甲信越支部 城東地域会主催 なりたての建築士のための設計コンペ

《集合住宅》

日本建築家協会【JIA】城東地域会は、公益法人の社会貢献として、一級建築士のデザイン・空間表現の向上を目指しています。今回、一級建築士の資格を取得された皆様は、2次製図試験も合格されたわけですが、これは試験として行われた設計であり、本来の建築家として、自らの意図を表現する事は無かったと思われれます。JIA城東地域会は、試験とは別に、建築家として同じ課題に取り組んだ時は、異なる設計提案が有るものと考えます。そのため、一級建築士のデザイン・空間表現の向上を目指す場として、一級建築士の製図試験と同じ条件での、設計コンペティションを計画しました。このコンペティションでは、設計課題は、《令和3年一級建築士試験「設計製図の試験」》と同じ、【集合住宅】とします。設計条件も敷地及び周辺状況は、一級建築士試験と全く同じ、建築物に求める要求も同様とします。しかし、これは試験では無いため、**自らの判断で、設計課題により的確にこたえるために、条件を逸脱しても構いません。**要求図書は、一級建築士試験とは異なり、A3版用紙であれば、どのような記載でも構いません。試験と同じ図面も構いませんが、パースやイメージのみ、あるいは文章のみでも構いません。自ら課題に対する適正な回答を表現できる方法での提案を求めます。**失格条項はありません。全て同様に審査します。**

応募資格 資格：令和3年度一級建築士試験合格者

課題・条件 《令和3年度一級建築士試験「設計製図の試験」》と同じ、【集合住宅】

登録 登録開始 2022年2月18日(登録締切 2022年3月18日)

質疑 質疑受付 2022年3月1日～5日(期間厳守)、質疑回答 3月8日 JIA城東地域会HPに公開(期限以降の質疑には回答いたしません。)

応募作品 **レイアウト、表現方法は自由 設計主旨文章、計画イメージ、図面、パース、CG、模型写真、ダイアグラム等、どのような形式でも提案可能**
上記内容を含む提案を、A3用紙1枚にまとめて、PDF形式のデータで、提出して下さい。
*詳細は、一級建築士合格発表頃、HPに掲載予定 (<https://jiayoto.wixsite.com/mysite>)

提出方法 PDF形式で、メールで送信して下さい。

提出期限 **2022年3月18日**

審査員 審査委員長+基調講演：建築家 井原正揮 / ihrmk

審査方法 審査は2段階審査とし、3月18日までに提出された応募案から、一次審査として10案程度を選定。3月26日一次審査の結果を公表(JIA城東地域会HPに掲載)、また選定者にはその旨を直接通知します。4月9日に一次審査通過者により、Webによるプレゼンテーションで二次審査を行い、最優秀賞・優秀賞を当日選定します。
*プレゼンテーションは一組3分以内とし、その後質疑を行います。
*プレゼンテーションには、提出された提案書を使用してください。(提案書以外のプレゼンテーションは禁止)
*一次選定通過者で、二次審査のプレゼンテーションに参加できない方は、提案書のみで審査します。

応募作品 【日時】2022年4月9日(公開審査会と同時に、審査委員長の基調講演も予定)
公開審査・講演会共に、Webで行います。
(WebのURLは、登録された応募者、および講演会に登録された方に通知します。)

表彰 最優秀賞…1作品 賞金5万円、優秀賞……2作品程度 賞金2万円

主催 公益社団法人 日本建築家協会【JIA】関東甲信越支部 城東地域会(詳細は、一級建築士合格発表頃、HPに掲載予定 <https://jiayoto.wixsite.com/mysite>)

協賛 株式会社 総合資格





公益社団法人 日本建築家協会《JIA》 関東甲信越支部 城東地域会主催
なりたての建築士のための設計コンペ



Photo:INATSUGU Taisuke

集合住宅の境界を考える

集合住宅には様々な境界があります。街／建物、隣地／計画地、内／外、そして共用部／専有部です。このような集合住宅の境界は今まで、こうあるべき、あるいは当たり前と言った社会的な既成概念で作られている大きな壁として認識されてきました。しかしそれらは縁側のような太い帯状のものであっても良いし、プレートテクトニクスのような動的に重なり合うもの、あるいは境界そのものが無くても良いこともあります。

テーマ

2019 年末から続くコロナ禍。オフィスワークや満員電車、自社ビル、忘年会といった今まで疑いもせず当たり前と思っていた物事が当たり前では無かったと、私達は気づき始めています。そういった流れを受け、集合住宅においても「食う寝るところに住むところ」という当たり前が通用しなくなるかも知れません。

賛否両論有りますが、集合住宅（共同住宅）は廊下や階段、エントランス、エレベーターホール、更にはエレベーターの昇降路などの共用部は容積率不算入となっています。折角なのでその利点を活かし、今までの当たり前が通用しない住まい方を受け止めるような共用部／専有部など、境界の新しい関係を提示してもらいたいと考えています。

審査委員長+基調講演：建築家 井原正揮 / ihrmk

審査員



略歴

2020-2016 駒沢女子大学非常勤講師
 株式会社 ihrmk 設立
 名古屋大学非常勤講師
 2015 ihrmk 開設
 2007-2014 シーラカンズアンドアソシエイツ
 2003-2006 東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻
 1998-2002 名古屋大学工学部社会環境工学科
 1980 福岡県北九州市生まれ・愛知県豊田市育ち

受賞歴

2021 「はつせ三田」 JID AWARD 2021 入選
 「はつせ三田」 東京建築士会住宅建築賞
 2020 「はつせ三田」 JIA 優秀建築選 100 選
 「はつせ三田」 グッドデザイン賞
 2018 「ひな壇基礎の家」 リネアタラーラ
 オーダーキッチン SHOW 2018 グランプリ
 2015 「風景を通す家」 Bronze A' Design Award など

雑誌掲載

2020 「はつせ三田」 新建築 2020 年 2 月号
 2018 「ひな壇基礎の家」 住宅特集 2018 年 5 月号
 「はなれのはなれ」 TOTO 通信 2018 年新春号
 2017 「はなれのはなれ」 住宅特集 2017 年 2 月号
 2016 「はなれのはなれ」 Lives vol.86
 2015 「風景を通す家」 Lives vol.82
 2014 「風景を通す家」 住宅特集 2014 年 12 月号 など